

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 北京事務所での勤務を振り返って

島根県商工労働部産業振興課主任 林 泰明

私は2010年4月からの2年間、北京事務所でお世話になりました。振り返りますと、本部での1年間の勤務も含め、CLAIR



北京事務所スタッフ・関係者と

では上司や同僚をはじめ、多くの人との出会いや新たな知見との出会いに満ちており、充実した生活を送ることができました。

北京事務所へ赴任した2010年は、リーマンショック後の世界経済危機や、またこれに端を発した欧州債務危機などの影響下、世界経済が深刻な混乱の中にある時期でした。先進国の景気が大きく落ち込む一方で、中国、ASEANをはじめとした新興国経済は、世界経済成長のけん引役として高い経済成長率を維持していました。中国ではシンボリックな出来事として、2008年の北京五輪に引き続き上海万博が開催された年でもありました。資源開発や都市建設などの巨大プロジェクトが全国各地で推進されており、勤務地である北京市内も地下鉄があつという間に開通し、至る場所で高層ビルが建築されるなど、すさまじいスピードと規模で開発が進むのを目の当たりにしました。そして自分自身は初めての海外での生活への期待と不安、初めて見聞きすることへの感動と興奮に包まれていたことを思い出します。

一衣帯水の隣国中国とは深い関係がありますが、日中関係における最近のトピックの一つに訪日中国人旅行者の急増が挙げられると思います。統計を見ますと訪日中国人旅行者数は2011年の約100万人から2015年は約500万人と、この5年間で5倍近くまで増加しています(出展:日本政府観光局(JNTO))。私が北京事務所に勤務していた2年間も、実に多くの関係者が全国各地で誘客プロモーションを実施されていました。その

中では、地域の特性や魅力を工夫してPRされたり、ツアー造成や航空便誘致に向けて営業活動をされたりする自治体関係者にもたくさん出会いました。訪日中国人旅行者の増加にはビザ発給要件の緩和や為替環境の変化、中間所得層の拡大などさまざまな要因が挙げられていますが、そのうちの一つには、誘客促進に向けたプロモーションや受け入れ体制の整備などの関係者のたゆめぬ取り組みがあり、その成果が着実に実を結んでいるのだと思います。

現在は、島根県内企業による直接投資や技術提携、貿易などの海外進出を支援する業務に携わっています。東南アジアに関心を寄せる企業が多かったこともあり、昨年度はアセアンへの進出をサポートする海外拠点「島根・ビジネスサポート・オフィス(バンコク)」の開設にチームの一員として取り組みました。中国から東南アジアへとエリアは変わりましたが、躍進する新興国の需要を取り込み、地域の活性化を目指すという意味では、中国で体感した取り組みと共通する部分があると感じています。経済のグローバル化が一層進展することにより今後も地域と外国とのつながりは深まるばかりだと思います。世界情勢の変化が地域へ与える影響を考え、効果的な取り組みができるよう、たゆまず努力していきたいと思います。



島根・ビジネスサポート・オフィス(バンコク)の開設式

### プロフィール

- 所属・役職: 島根県商工労働部産業振興課  
海外展開支援スタッフ 主任
- CLAIR時代の所属:  
2009年4月~2010年3月: 業務部業務課 主査  
2010年4月~2012年3月: 北京事務所 所長補佐